

## 1. 活動の概要

5月23日(水)、安来市立布部小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに県埋蔵文化財調査センターの職員から、古墳や古墳時代の特徴について話を聞きました。古墳が有力者のお墓であること、かつて日本は「倭(わ)」と呼ばれた東アジアの小国で、それをまとめていたのがヤマト政権で、頂点に立つ大王がいたことを学びました。

次に、埴輪について話を聞きました。埴輪には、円筒埴輪や人物、動物、家形など、様々な種類の埴輪があることについて学びました。また、人物埴輪から当時の人々がどのような服装をしていたのかなどが分かることや、埴輪がどのようにつくられ、古墳に並べられるのかなどについて学習しました。実際の埴輪や写真パネルも見学してもらい、古墳や埴輪についての理解をさらに深めました。

その後、「はにわ作り」を行いました。胴体や頭を作り、貼り付けるまでは、皆うまくできました。胴体を作ることに苦労していましたが、それぞれの児童が様々な文様や飾りなどを付け、個性的な作品が完成しました。

先生方のアドバイスを受けながら、それぞれの児童が楽しんではにわ作りを行いました。

## 2. 活動の様子

### 1)古墳と古墳時代、そして埴輪について知る



実物の円筒埴輪を見てもらいます。



埴輪づくりを始めます。

### 2)古代体験活動～はにわ作り～



イメージ通りにできるかな？



「個性的な作品がたくさんできました。」

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- ・実物大の埴輪をつくりたいです。
- ・一番心に残ったことは、古墳がお墓と知ったとき。
- ・いろいろな形の埴輪があってすごいと思いました。
- ・埴輪の体を作るところが、難しかったです。顔を作ることが面白かったです。

#### 2) 担任の先生から…

- ・たくさんの例を紹介しながら話していただいて良かった。
- ・実際に埴輪を作ることで、古墳時代への関心が高まったように思う。前半の部分も、写真とともに話が聞けたので、わかりやすかった。無料で粘土を用意していただきありがとうございます。
- ・埴輪、古墳などについて学習できた。子ども達を楽しみながら歴史に触れることができた。時間ももっとあれば良かったと思いました。DVD などもあると意欲が向く子ども多いのではないかと思います。

#### 3) 埋文センターから

- ・できるだけ、県内の古墳の様子がわかるような写真パネルを用意しました。まずは、古墳そのものに興味を持ってもらえたと思いました。埴輪づくりは、粘土と粘土をうまくひっつけられると、イメージ通りのかたちになります。